

■発行日：2017年8月30日
 ■発行者：栃木県中小企業家同友会
 〒321-0968
 栃木県宇都宮市中今泉2-3-13
 TEL 028-612-3826 FAX 028-612-3827
 E-mail : t-doyu@ninus.ocn.ne.jp
 URL : http://www.tochigi.doyu.jp/
 ■企画編集：広報委員会 ■印刷：有限会社 赤礼堂印刷所



様

News Topic 01

全国の話題

～中小企業家同友会全国協議会(中同協)第49回定時総会 in 愛知～

去る7月6日から7日、本年度の定時総会が愛知県名古屋市にて全国から1400名を超える参加者を迎え開催されました。

1日目は本年度の中同協の掲げる課題と活動方針【①経営の基本を学ぶ場をつくること②10年ビジョンを掲げて活用すること③学校・自治体との連携を深め人材育成に生かすこと④会員5万名達成に向け、計画的に会員増強を図ること⑤中小企業振興基本条例を推進すること⑥同友会運動の歴史認識の継承と系統的学習をすすめること】が確認され、各々の活動方針について19の分科会に別れて討議が行われました。各分科会では先進的な具体例から普遍化し、各地同友会の取り組むべき課題が鮮明になるよう深めました。2日目は

議案採択に引き続き、今期で退任された鋤柄前会長と広浜新会長が「中小企業と同友会の強みを活かす」をテーマに対談を行ないました。お二人は私たちに、「同友会運動の継承者として、“時代をつくる主体者として誇りをもって活動して欲しい”」と語られました。

【文】石綱知進／
(株)共立



News Topic 02

全国の話題

～中同協 第20回女性経営者全国交流会 in 富山～

小さな仕事・企業を 蜂の巣のようにつなげよう！

去る6月15日～16日、富山市で「第20回女性経営者全国交流会(女全交)」が全国690名を超える会員の参加で開催された。



私は「仲間づくり」がテーマの、大阪同友会設営の分科会に参加した。大阪同友会では女性部活動を進めていくために、女性部の存在意義が同友会の理念の

他、何項目か掲げられていた。

特に「草の根経済の活性化」ということに感銘を受けた。創業する女性経営者も増えてきているが、往々にして社員数は多くないし、経済規模も小さい企業が多い。だが、その一つ一つは、生活者の視点を大切にしている。女性部は企業を連携させ、仕事を広げていくことに、ひとつの存在意義があるのではないかということであった。

われわれのような中小企業は、「一つ一つは小さいが、蜂の巣のように連携した一つの集団となる事で存在意義が高まり、地域で力を発揮していくことができる」という視点を持つことが必要であると考えた。

【文】代表理事 八木 仁／(株)シンデン

今後の予定

9月 2017 経営フォーラム
10年ビジョン～社員と笑える未来をつくる～
報告者／玄地 学氏(宮城)
東洋産業(株) 社長
【開催日】9/8(金) 15:00受付 15:30開会
【会場】ベルヴィ宇都宮
【参加費】7,000円

9月 県例会
報告者／山崎 俊也氏 タカマチ産業(株) 専務
鈴木 正則氏 アデラ・コンテンツポラリー 代表
片平 芳明氏 こいあい税務会計 代表
【内容】経営フォーラムの問題提起を受けて、栃木の経営指針セミナー卒業生による(メルディスカッション)を行う
【開催日】9/22(金) 17:30開会
【会場】宇都宮東市民活動センター

10月 10月例会
「中小企業の異業種連携事業展開」少子化 生き残りの企業連携戦略～発達障害者等免許取得支援「つばさプラン」に見る企業と福祉の連携」～
コーディネーター／金井 光一氏 NPO法人チルドレン・コミュニケーション 理事長
パネラー／古澤 正巳氏 発達障害者免許取得支援校舎自治体連携推進 代表取締役
金子 幸子氏 NPO法人CCV学園 講師
神戸 真弓氏 NPO法人 CCV 副理事長
【開催日】10/24(火) 18:00開会
【会場】宇都宮東市民活動センター
【内容】中小企業だからこそ地域連携が必要、社会の課題改善が経営課題となる

中小企業家同友会で学んで

(株)シンデン 代表取締役社長 八木 仁氏

6月県例会が宇都宮東市民活動センターにおいて6月29日行われた。テーマは「中小企業家同友会で学んで」。報告者は当会代表理事、(株)シンデン、



代表取締役八木仁氏。二代目社長として歩んできた道のり、中小企業家同友会へのきっかけ、活動を通しての学びについて報告を頂いた。現在同社において

恒常的に行われている新卒採用までの困難多き道のり、八木氏が経営において重要視する売価と粗利の関係性、企業経営の羅針盤、従業員構成と経営計画を時系列で捉える「年齢構成表」の使用方法等、その全てが具体的、且つ実践的であった。報告は自社の経営にとどまらず、「地域分析、その発展論」そして「それに同友会としてどう貢献できるか？」にまで及んだ。その熱はその後のグループ討議に伝播、活況を呈した。八木氏の活動は「良い会社を作ろう！良い経営者になろう！良い経営環境を創ろう！」の同友会をまさに体現するものであり、大きな大きな学びの場となった。
[文] 福田忠史

～農業生産法人というフロンティアで
(株)ゼニスに成功するまで挑戦し続ける～報告者：(株)ゼニス 環境事業推進グループリーダー
中村 誠氏

グローバル化による製造業の海外移転と少子高齢化による国内消費減退のもと、我々中小企業は皆、それぞれ生き残りをかけた変革を迫られてきました。

そんな中、コピー機部品の設計製造で国内メーカーから高い評価を得て事業を伸ばしてきた(株)ゼニスも、環境変化に対応して実に多くの挑戦を続けています。

中国工場進出、循環型社会に対応した生ごみ堆肥化装置の販売と失敗、生ごみ処理場の買収・運営・売却。太陽光発電事業。農業生産法人の設立。製造業のノウハウを生かした徹底的な品質・生産管理での高品質作物づくりなどなど。

報告者が任された農業生産法人ではイチゴ・

トウモロコシに続き、現在は「かっぺのトマト」という高品質トマトの生産に全力投球中とのこと。トマトの病気に対応したり、人手による受粉・芽欠き、CO₂



管理など高品質化のためには非常に手間がかかり、その手間に見合った価格で売するためのブランド化が課題だそうです。しかし、最近は金谷ホテルから「こんなトマトに出会いたかったんだ」と言われるほど、評価も広がってきています。

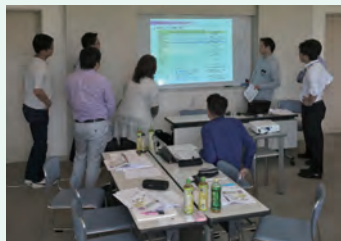
全く畑違いの業界から、新天地に飛び込んで悪戦苦闘中の中村さん。がんばれ！同友会は、そんな彼が経営者として学び、成長できる場でありたいと思いました。

[文] 小山研一 (有)赤札堂印刷所

数字から学ぶ経営指針セミナー

「2017」年度経営指針セミナーが6月からスタートした。私自身、前回は一参加者として講義を受ける立場であったが、今回より講師として講義をする立場になり、様々な気付きを与えられた。

特に、第1、2回で会計、税務といった企業における数字の点から話をしたが、我々のような常日頃数字を扱っている者と経営者とは、数



字に対する理解度に大きな隔たりがあり、その点に我々が気付いていなかったことを強く感じた。

しかし、経営指針セミナーの中で共に考えることで互いに理解できるような時間を共有できた。

経営指針セミナーは途中からでも経営の参考になる話は多くあるため、興味のある経営者の方は是非参加してもらいたい。

[文] 片平芳明こいあい税務事務所

■ 栃木同友会に関する資料請求はこちらまで → FAX 028-612-3827

貴社名	役職名・氏名	
住所 〒		
TEL	FAX	E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、各種ご案内ならびにお問い合わせ対応のみに使用し、第三者への開示は一切ありません。